

生活科学学習指導案

日 時 平成29年5月31日（水）5校時
児 童 2年生
授業者
授業場

1 単元名「やさいをそだてよう」

2 単元の目標

植物を育てる活動を通して、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけ、成長の過程に目を向けながら、それらが生命をもっていることに気付くとともに、自分が育てている植物に親しみを持ち、大切にすることができる。

3 単元について

(1) 単元観

本単元は、小学校学習指導要領解説生活編の中の内容(7)「動植物の飼育・栽培」を扱った単元であり、自分の鉢植えで一人一苗の野菜を育てる活動、学年の畑に野菜の種を蒔き育てる活動を行う。ねらいは、継続的に野菜を育てる活動を通して、身近な植物の変化や成長の様子に興味・関心を持ち、成長の過程に目を向けながら、それらが生命をもっていることに気付き、自分が育てている植物に親しみを持って大切にできるようにすることである。

野菜の成長の過程に目を向けてお世話をしていく際には、自分の野菜の成長について友達の野菜や畑の野菜から得た情報を基に、比較、分類、関連づけなどを通して思考し、野菜の生育条件や成長の仕方、自分の野菜の成長に関する気付きを獲得していくことが重要である。また、「こんなふう育ててほしい」「こんなふうにお世話をしたい」という思いをもって活動を繰り返していくことによって、「元気がなかったのに元気になった」「こんなふうにお世話をしたらこうなった」「実ができた」「収穫できた」「みんなで食べることができる」など、野菜の成長やそれらが生命をもっていることへの気付き、育ててきた野菜に親しみをもつ姿を育むことを大切にしていく。

(2) 目指す児童・生徒像

1年生の「動植物の飼育・栽培」分野の学習では、あさがおと他の花を同じ鉢植えで同時に育てる活動を通して、「お花を育てたい」「花を咲かせたい」という思いや、友達と関わる必要感をもって自分が育てている花とのかかわりを深め、「お世話を頑張ったから花が咲いた」「自分はお花を育てることが好きになった」など、自分自身への気付きを獲得していた。また、生活科以外でも、学校の花壇に花の苗を植えて継続的にお世話をする「花いっぱい運動」に取り組んだり、日常的に植物に触れたりする経験を通して、植物を身近に感じ、親しみをもってかかわる姿が見られた。

このような児童の実態から、本単元における目指す児童像は、1年生時における栽培経験を生かして活動する中で、個人思考や友達と共有して解決していく課題の内容が1年生の学習時よりも質的に高まり、野菜が成長していく喜びや達成感、友達と協力できたこと、生き物に優しくすることができたことなどに気付いていくことを通して、野菜だけでなく植物全体とのかかわりを深めた自分自身に気付く姿であると捉えている。

(3) 指導観

本単元における「見方・考え方」と「対話的な学び」との関係性

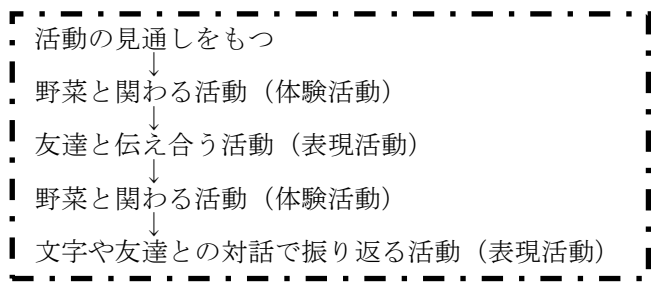
本単元において子供が「見方・考え方」を働かせる姿とは、「野菜の成長を自分とのかかわりで捉え、比較、分類、関連づけ、試行、予測、工夫することなどを通して、自分の野菜の成長や自分のお世話の仕方について考えること」であり、「見方・考え方」が高まるとは、子供が「見方・考え方」を継続的に働かせ続けることによって、「野菜の成長について自分との関わりで捉え、思考し、気付きを獲得していくことがスムーズに行われるようになること」であると捉えている。

○本単元における「見方・考え方」の具体

- ・「今まで（前時）と比べて…」 「今まで（前時）と同じなのは…」
- ・「自分の野菜と友達の野菜（同じ野菜）を比べて…」 「自分の野菜と友達の野菜（同じ野菜）が同じなのは…」
- ・「自分の野菜と友達の野菜（違う野菜）を比べて…」 「自分の野菜と友達の野菜（違う野菜）が同じなのは…」
- ・「自分の野菜と畑の野菜を比べて…」 「自分の野菜と畑の野菜が同じなのは…」 → 「比較」や「分類」を通した思考へ
- ・「(育てる場所, お世話の仕方, 成長の様子について) 自分の野菜が～で, 友達(畑)の野菜が～だということは…」 → 「関連づけ」を通した思考へ
- ・「(水の量を, 肥料を, 育てる場所を, 支柱を, 葉を, 茎を, 花を, 実を) こうしてみよう」 → 「試行」へ
- ・「(水の量を, 肥料を, 育てる場所を, 支柱を, 葉を, 茎を, 花を, 実を) こうするときっと…」 → 「予想」へ

○一単位時間, または一回の学習活動における授業展開の工夫～Ⅰ

本単元では, 一単位時間に野菜と関わる活動を2回設定する右のような授業展開を行うことで, 友達と伝え合うことや教師とのやりとりによって得た「見方・考え方」をその日の授業の中で働かせながら思考したり気付きを得たりすることができるようにする。このサイクルを繰り返していくことによって, 子供たちが「見方・考え方」を拡充したり, 鍛えたりしていく場が保障されると考える。



○思いを繋ぎ整理・焦点化していくためのかかわり～Ⅱ

一回目の「野菜と関わる活動」において, 子供たちの活動が進み, 「自分の野菜にこうなってほしい」「こんなふうに育てたい」という思いがはっきりしてきた段階で, 友達と伝え合う活動を設定する。ここでは, 写真を提示して自分や友達の活動や野菜の様子をイメージしながら伝え合うことができるようにした上で, 野菜の様子や思った通りに成長しているかどうかを問い, 適宜次のような提示・発問・指示を行う。

- 発言した子の状況を自分との関わりで捉えるための発問・指示
- 「○○さんの葉はこんなふうになったみたいなんだけど, みんなはどう?」
 - 「○○君と同じことをした人はいる?」「本当にそう?」「みんなもそう?」「自分の野菜を見てみよう。」
- なかなか上手く育たないと感じている子を取り上げる際の発問
- 「○○さんはどうして～になっちゃったのかな?」「どうしたらいいと思う?」
 - 「同じ野菜を育てた人はどう?」
- 畑の様子を提示・発問(問い返し)
- 「畑の□□はこんな状態なんだけど, どう思う?」「どうしたらいいかな?」「それはなぜ?」

子供たちの発言に「比較」「分類」「関連づけ」に繋がる「見方・考え方」が表れ, それによって他の子供たちも自分の野菜の様子を様々な視点で考えることができるようになった段階では, 板書を基に様々な気付きを比較, 分類, 関連づけすることができるように問い返していく。子供がより多くの話題や視点に触れながら対話したり, よりよい「お世話の仕方」について考えたりする姿を引き出したりすることから, 子供たちがやってみようことや自分の野菜の育て方に生かしたいことを見付けることができるようにし, 二回目の「野菜と関わる活動」に繋げていく。

4 評価規準

生活への関心・意欲・態度	活動や体験についての思考・表現	身近な環境や自分についての気付き
ア 身近な野菜(植物)に関心をもって関わろうとしている。	ア 野菜の育つ場所, 変化や成長について考えている。	ア それぞれの野菜の特徴, 育つ場所, 変化や成長の様子に気付いている。
イ 野菜の育つ場所, 変化や成長の様子に関心を持ち, 成長を楽しむにお世話をしている。	イ 自分なりの方法で野菜に関わり, お世話の仕方を工夫している。	イ 育てている野菜に合ったお世話の仕方があることに気付いている。
ウ 身近な野菜(植物)に親しみをもち, 植物を大切にしようとしている。	ウ 育ててきた野菜とのかかわりを振り返り, 自分なりの方法で表現している。	ウ 野菜(植物)は生命をもっていることや成長していることに気付いている。
		エ 野菜(植物)への親しみが増し, 頑張った自分, 植物に優しくすることができた自分などに気付いている。

5 学びの過程のデザイン

下支えする主体的な学び	学 習 活 動	手 立 て
<p>自分が育てる野菜を選び、地域のお店に実際に買いに行くことで、「野菜を育ててみたい」という思いをもつことができるようにする。</p>	<p>1・2 時間目</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分が育てる野菜を選ぶ。 ○山本生花店に出掛け、野菜の苗を購入する。 ○野菜の苗を自分の鉢に植え替える。 関ア 	<p>I</p> <p>活動の見直しをもつ</p> <p>↓</p> <p>野菜と関わる活動（体験活動）</p> <p>↓</p> <p>友達と伝え合う活動（表現活動）</p> <p>↓</p> <p>野菜と関わる活動（体験活動）</p> <p>↓</p> <p>文字や友達との対話で振り返る活動（表現活動）</p>
<p>野菜の苗と種の種類を複数にすることで、自分の苗以外のものや友達の苗に自然と目が向くようにする。</p>	<p>3 時間目</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「やさいカード」に苗の様子を記録する。 ○水やりなどのお世話をする。 気ア 	<p>II</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真を提示して自分や友達の活動や野菜の様子をイメージしながら伝え合うことができるようにした上で、野菜の様子や調子について問う。 ・適宜次のような提示・発問・指示を行う。 <p><u>発言した子の状況を自分との関わりで捉えるための発問・指示</u></p> <p>「○○さんの葉はこんなふうになったみたいなんですけど、みんなはどう？」</p> <p>「○○君と同じことをした人はいる？」</p> <p>「本当にそう？」</p> <p>「みんなもそう？」</p> <p>「自分の野菜を見てみよう。」</p> <p><u>なかなか上手く育たないと感じている子を取り上げる際の発問</u></p> <p>「○○さんはどうして～になっちゃったのかな？」</p> <p>「どうしたらいいと思う？」</p> <p>「同じ野菜を育てた人はどう？」</p> <p><u>畑の様子を提示・発問（問い返し）</u></p> <p>「畑の□□はこんな状態なんですけど、どう思う？」</p> <p>「どうしたらいいかな？」</p> <p>「それはなぜ？」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・板書を基に様々な気づきを比較・分類・関連づけすることができるように問い返し、子供がより多くの話題や視点に触れながら対話したり、よりよい「お世話の仕方」について考えたりする姿を引き出していく。
<p>子供の活動中の様子や発言を丁寧に聞き、思いや願い、疑問に寄り添った声かけをしたり、問い返したりする。</p>	<p>4 時間目</p> <ul style="list-style-type: none"> ○畑に植える野菜の種を観察する。 ○畑に野菜の種を植える ○水やりなどのお世話をする。 関ア 	
<p>朝、鉢をベランダに移動させ、下校前に教室に戻すようにすることで、1日2回は必ず自分の野菜と関わるができるようにする。</p>	<p>5～11 時間目 ※本時は6時間目</p> <ul style="list-style-type: none"> ○前時の活動やこれまでのお世話を基に、活動の見直しをもつ。 ○自分の野菜の苗を観察したり、お世話に必要なことを調べたり、実際にお世話をしたりする（「おやさい たんけんたい」）。 	
<p>児童の活動の様子を見取り、個別の声かけや問い返しをすることによって、友達の活動に目を向けながら野菜の成長に対する思いや願いをもち、これからのお世話の仕方について考えることができるようにする。</p> <p>「野菜は思った通りに成長してる？」</p> <p>「花は咲きそう？」「実はできそう？」</p> <p>「どうしてこうなったのかな？」</p> <p>「他にも○○を育てている人がいたね。」</p> <p>「『おやさいかいぎ』でもこんな話が出ていたね。」</p>	<p>「おやさい たんけんたい」の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書きたい ・調べたい ・お世話したい <p>※単元が進む中で、子供たちから他の「～たい」が生まれたら認め、価値付けていく。</p>	
<p>振り返りカードに記述したり、友達と話したりして本時の活動を振り返る時間を設定する。カードにするか話にするかは、単元の展開や時間などによって適宜判断する。</p>	<p>○活動の中で気付いたことなどを友達と伝え合う（「おやさい かいぎ」）。</p> <p>○やってみたいことを試したり、これからのお世話について話したりする（「書きたい」以外の「おやさい たんけんたい」の活動）。</p> <p>○振り返りカードや友達との対話を通して本時の活動を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わかったことや気付いたこと ・次やりたいこと ・これからのお世話で気を付けること <p>関イ 思ア 思イ 気ア 気イ 気ウ</p>	
<p>子供の活動中の様子や発言を丁寧に聞き、思いや願い、疑問に寄り添った声かけをしたり、問い返したりする。</p>	<p>12～14 時間目</p> <ul style="list-style-type: none"> ○収穫パーティーの内容について話し合う。 ○主に畑の野菜の収穫をする。 ○鉢や畑の後片付けをする。 ○野菜へのお手紙を書く。 関ウ 思ウ 気エ 	
<p>振り返りカードや野菜への手紙を書く時間を設定することで、単元全体を振り返り、学習の手ごたえが感じられるようにする。</p>		

6 本時について（6 / 14 時間目）

(1) 本時の目標

自分の野菜の苗と関わる活動、友達と伝え合う活動を通して、よりよいお世話の仕方について考え、これからの栽培活動の見直しをもつことができる。

(2) 本時における研究の視点

本時においては、主に研究の手立てⅢを講じていくことになる。

児童は前時までの学習において、土や水の量に注目して活動し、自分が決めた方法で野菜のお世話をしている。本時では、観察カードを書く、資料で調べる、お世話をするなどの活動の中で気付いたことやこれからどのようにお世話をしていきたいかを伝え合う中で、発言した子やなかなか上手く育たないと感じている子に焦点を当てて発問や問い返し等を行っていく。また、板書を基に様々な気付きを比較、分類、関連づけすることができるように問い返し、子供がより多くの話題や視点に触れながら対話したり、よりよい「お世話の仕方」について考えたりする姿を引き出ししていく。これらのかかわりにより、子供たちがその後の活動やこれからの栽培活動において、友達との対話を通して得た「見方・考え方」を働かせながら思考したり気付きを得たりすることができるようにしていく。

(3) 本時の展開

学習活動	主な働きかけ・手立て	【評価】 個に応じた指導 (▲)
<p>1 前時の活動やこれまでのお世話について思い出し、本時の活動の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土を足したり、入れ替えたりしたよね。 ・水の量はいろんな意見があったけれど、みんなの野菜はどうか？ 	<p>○写真を提示し、前時の活動やこれまでのお世話を基に、本時の見通しをもつことができるようにする。</p>	
<p>やさいが元気に育つように、「おやさい たんけんたい」の活動をしよう。</p>		
<p>2 自分の野菜の苗を観察したり、お世話に必要なことを調べたり、実際にお世話をしたりする（「おやさい たんけんたい」）。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・葉や蕾が増えてきたよ。 ・私のピーマンは○○君のピーマンよりも… ・僕のミニトマトはなんだか倒れそうだよ。 ・小さい葉っぱが増えてきたな。なんだろう？ ・元気に育つために、土や水以外に大事なことはあるのかな？ ・本や資料で調べてみよう。 	<p>□活動の様子を見取り、「野菜は思った通りに成長してる？」「どうしてこうなったんだろうね？」「他にも○○を育てている人がいたね。」など、個別の声かけや問い返しをすることによって、友達の活動に目を向けながら野菜の成長に対する思いや願いをもち、これからのお世話の仕方について考えることができるようにする。 A-②</p>	<p>▲活動内容を決めることができない子を中心に、友達とつなぐ声をかけ、思いが明確になるようにする。 【活動・発言・カード】</p>
<p>3 活動の中で気付いたことなどを、友達と伝え合う（「おやさい かいぎ」）。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・葉がたくさん増えてきたよ。 ・草丈が伸びていたよ。 ・花が咲いたよ。 ・ミニトマトはすごく伸びているけれど、私のピーマンは… ・すごく高くなったんだけど、倒れそうだったから、棒を立てたよ。 ・カビが生えていたから、またとったよ。 ・私のミニトマトは元気がないよ。どうしてかな？ ・僕のも葉がしおれちゃったんだけど、水をあげすぎたからだと思ったよ。 ・太陽が当たりやすいところで育てた方がいいんだって。 ・わき芽は抜いたほうがいいんだって。 ・でも、かわいそうだね。 ・やってみようかな。 	<p>□写真を提示して自分や友達の活動や野菜の様子をイメージしながら伝え合うことができるようにした上で、自分の野菜が思った通りに成長しているかを問い、話し合いを進めながら適宜次のようなかかわりを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「○○さんはこんなふうになったみたいなんだけど、みんなはどう？」 ・「○○君と同じことをした人はいる？」 ・「本当にそう？」「みんなもそう？」 ・「自分の野菜を見てみよう。」 ・「○○さんはどうして～になっちゃったのかな？」 ・「同じ野菜を育てた人はどう？」 <p>□板書を基に様々な気付きを比較・分類・関連づけすることができるように問い返していく。 手立てⅡ</p>	<p>▲自分との関わりで捉えることが難しい子には、自分の状態や思いを選択できるようにして問う。 【発言】</p>
<p>4 やってみたいことを試したり、これからのお世話について話したりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日当たりに気を付けて鉢を置いてみよう。 ・私のも倒れそうだから、棒を立ててみよう。 ・このわき芽は抜いていいのかな？ 	<p>○もう一度活動する時間を設定し、やってみたいことを試したり、お世話について話したりできるようにする。</p>	<p>【活動・発言】</p>
<p>5 友達との対話を通して本時の活動を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・葉や茎が元気になってほしいから、太陽が当たりやすいところで育てよう。 	<p>□「こんなふうに育ててほしいからこんなお世話をしたい」という思いをグループの友達と伝え合う。 A-③</p>	

本單元における気づきの質の高まりのルーブリック

自分自身への気づき		↑ 気づきの質の高まり
自覚的	<p style="text-align: center;">関係的な気づき</p> <p style="text-align: center;">思考を伴うもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなで頑張って育ててきたから、畑の野菜はおいしいね。 ・みんなでいろいろなことを解決して育ててきたね。 ・お世話を頑張ってきたから、おいしい野菜ができたんだね。 ・特に自分が育てたミニトマトが大好きになったよ。よく育ってくれたな。 ・野菜を育てたことがなかったけれど、野菜を育てるのが楽しいな。野菜のことも好きになったよ。 ・お花だけでなく野菜のことも詳しくなったよ。 ・野菜がどんどん成長して、とっても嬉しかったな。 ・これまで大変なこともあったけれど、大切に育ててきたな。 など 	
感覚的	<p style="text-align: center;">個別的な気づき</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実はだんだん色づいてくるんだ。・花が咲いたところから、実ができるんだ。 ・じゃがいもの葉がしおれているよ（虫に食べられているよ、周りに雑草が多いよ、実ができないよ）。 ・エンドウの芽が出たよ（葉が増えたよ、花が咲いたよ、増えたよ、実ができたよ、増えたよ、草丈が伸びたよ）。 ・私のミニトマトの葉がしおれているよ（虫に食べられているよ、根っこが見えているよ）。 ・僕のナスの葉の数が増えたよ（花が咲いたよ、増えたよ、実ができたよ、増えたよ、草丈が伸びたよ）。 ・じゃがいもの種ってこんな形（色、大きさ、におい）なんだ。 ・野菜を育てるためには、石、土、肥料、水が必要なんだ。 ・ミニトマトの葉（茎、花）ってこんな色（大きさ、におい、形）なんだ。 ・ピーマンの苗ってこんな色（大きさ、におい、形）なんだ。 など 	
無自覚な気づき		